


審査結果報告書

平成 29 年 2 月 7 日

主査 氏名 西山 和利 

副査 氏名 村雲 晋樹 

副査 氏名 隈部 俊宏 

副査 氏名 宮岡 等 

1. 申請者氏名 : 野々田 豊

2. 論文テーマ : Interictal high-frequency oscillations generated by seizure onset and eloquent areas may be differentially coupled with different slow waves
(発作間欠時の高周波律動は、てんかん発作起始部と機能的
重要領域では異なる周波数スペクトラルの徐波と連結して
発生する)

3. 論文審査結果 :

本研究はてんかん外科手術を受けた症例の大脳皮質より直接記録された皮質脳波 (ECoG) を用いた後方視的研究である。高周波律動 (HF0) は ECoG で観察される 80Hz 以上の高周波数帯域の脳波活動であり、HF0 はてんかん源性度を示す指標として注目されている。しかし機能的な重要領域 (eloquent area) からも HF0s は発生することが知られており、病的 HF0 と生理的 HF0 の鑑別は臨床上重要となってきた。申請者は 13 例の小児例を対象に HF0 の出現部位を詳細に検証した。また変調指数 (modulation index) を検討することで、病的 HF0 は 3~4Hz の徐波と連結し、生理的 HF0 は 0.5~1 Hz の徐波と連結することを示した。こうした臨床に貢献する業績は高く評価され、研究概要が 2016 年の Clinical Neurophysiology 誌に掲載された。審査では申請者による発表の後、副査および主査の広範な質問に対して適切に回答し、学識の高さを示した。副査および主査は学位論文の内容に加えて、質疑応答の適確さから、医学博士の学位に相応しいと判断した。